



05

人間科学部 人間科学科
社会福祉専攻卒業

MINATSUKI MIYUKI

産業ソーシャルワーカーの先駆者として
日本企業に切り込むバイタリティは
武蔵野大学で培った学びがベースにあるからこそ。

皆月 みゆきさん

株式会社インクルージョンオフィス代表

Profile

2011年4月 武蔵野大学通信教育部 人間科学部 人間科学科 社会福祉専攻3年次に編入学
2013年3月卒業。社会福祉士およびケアマネジャーの資格を取得。

2015年ソーシャルワーカーによる、ソーシャルワーカーのための株式会社インクルージョン
オフィスを設立。ソーシャルワークを企業の中で活かすプログラムを提供している。

娘の付き添いで通った 高齢者施設の体験が 新しい道を示してくれました。

娘が小学生の時に、学校行事で高齢者の施設に慰問に行くということがあります。高齢者に対して否定的な言葉が出て来たのにはショックを受けました。核家族だったこともあり、高齢者と触れ合う機会が少ないのが原因と考え、デイサービスのボランティアに娘を行かせたのが、私にとって初めて接する介護の現場でした。この施設には、娘が5年生になるまで、週に1回または2週間に1回のペースで一緒に通っていましたが、ちょうどその頃、娘の主治医から「もう大丈夫です」という言葉をいただきました。実は、娘は2歳で白血病にかかり、治療が終わったものの5年間は何かあるか分からないといわれていました。ホッと、嬉しかったのに、なぜか娘と同じ病気で亡くなっていった子どもたちに対して、後ろめたい気持ちをどうしても拭えなかったんです。この気持ちを解決するには、どうしたらいいのか。半年以上考えて、導き出したのが社会貢献でした。何をすればいいのか、そんな時に思い出したのが、娘と通った高齢者施設でした。

先生に恵まれ、学びを深めた2年間。 気がつけば前職との共通点がありました。

たまたま、その施設でホームヘルパーの講座があると聞き、参加してみました。初めて習うことばかりでしたので面白かったですね。同時に、介護福祉士や社会福祉士、ケアマネージャーといった資格があることを知りました。そこで、自分の中で5カ年計画を立て、3つの資格を全て取得しようと決意。計画通り2年で介護福祉士の資格を取得した後、入学する大学を探しました。単位認定試験までインターネットでできること、自宅からも通いやすい立地だったということで、最終的に武蔵野大学に決めました。実際に、武蔵野大学で勉強してみると、良い先生ばかりでした。ソーシャルワーカーという気質もあるかもしれませんが、学生の中に入ってきてくれたんですね。飲み会では、貴重な事例の話してくれるなど恵まれていました。スクーリングの授業で、最初に先生が話してくれたソーシャルワーカーは革新的であれという言葉が心に刺さりました。まだ日本では、ソーシャルワーカー＝福祉と思う人が多いと思います。私は娘が発病するまで、長年、マーケティングプロデューサーとして大手企業の新規事業や新商品開発に携わってきたのですが、実は、社会を変化させ、人をつなげ、エンパワーメントするというソーシャルワーカーの定義は、私の前職と同じ、プロデューサーと共通する部分が多いということに思い至りました。

わたしの変化

ソーシャルワーカーは、
前職とは関連性のない仕事だと思っていた

→ 学びを進める中で、共通点が多いことに気がついた

娘の病気が完治した時に、後ろめたい気持ちがあった

→ 社会貢献の一端を担うことで解消できた

大学入学時は、将来のビジョンが見えていなかった

→ 知識を深めたことにより、多くの構想が見えてきた

発起人として関わってきた勉強会は、 大学にも評価され、現在も継続中。

スクーリング初日に、みんなに声をかけて、月1回の勉強会を開催。通信で学ぶには、いかにモチベーションを保ち続けるかだと思います。そのためには、人と話すことが大切。月1回の勉強会で、目標を同じにしている人たちと話したり、意見を交換したことは、大学生活をとっても有意義にしてくれたと思います。

実は卒業後も勉強会を継続してほしいと言われ、ずっと運営に携わっていました。現在、勉強会の登録メンバーは150人となりました。サイボウズの掲示板を利用して、遠方に住んでる方でも閲覧することができます。ここには、いろいろな勉強法やOBだからこそわかる内容の濃いアドバイスがアップされています。そのせいか、メンバーの社会福祉士の合格率は80%! 全国平均は25%ですから、その高さが分かっていただけだと思います。私たちの勉強会が評価され、大学のHPに掲載していただいたり、大学の教室を勉強会用に開放していただいたり。武蔵野大学の魅力は、生徒が起こしたアクションを大学が全面的に協力してくれる、そんな懐の深いフィールドが用意されているということだと思います。



武蔵野大学の学びを活かし会社を設立。 産業ソーシャルワーカーの確立をめざす。

大学を卒業後、ケアマネージャーの資格も取得し、私の5カ年計画が完了しました。次は、何をしようかと周りを見渡せば、みんな熱い想いを持っているのに、目の前の仕事に追われ、今まで勉強してきたことが活かされていないことに気がついたんです。ソーシャルワーカーは、目の前の人を助ける視点と世の中を変える視点という、複眼的な要素を持っています。現状は、人を助けることに対して一生懸命。それなら社会を変えていくという方に、私が注力すればいいと考えました。そこで、ソーシャルワーカーによる、ソーシャルワーカーのための会社を設立。武蔵野大学で出会った、かけがえのない仲間たちにも協力してもらいながら、日本における産業ソーシャルワーカーの認知と確立をめざしています。前職で様々な企業とのお付き合いがありましたから、今もそのスキルを活かした役員へのプレゼンテーションが営業の基本です。働き方改革、女性活躍、非正規、再雇用などの課題にソーシャルワークを活かすことが、貧困、孤立など福祉的課題への予防になればと考えています。